

最上町の let's Challenge !

Vol.2

大好きな柔道を子どもたちへ伝える

怪我を予防するために 柔道の基礎を指導

たかはし
ふみよし
高橋 文祥 さん
44歳 〓 鶴杉地区 〓

昭和54年生まれ。丸寛高橋組 専務。最上柔道スポーツ少年団の代表を務めています。趣味は柔道、食べ歩き、ドライブ。好きな言葉は「健康第一」。



「柔道が大好きなので、脱スボーツハラスメントで柔道の楽しさを教えています」そう話してくれた高橋文祥さん。選手としての柔道歴は中学と高校の合わせて6年間。「選手としては立派ではなかったが、指導歴も合わせると22年間（指導歴16年）やってきました。」27歳でガンを患ったことのある高橋さん。大病との闘いの末に行きついたのは、生きている限り、大好きな柔道を楽しみたい。多くの子どもたちに柔道の楽しさをわかかってほしい。そのきっかけを作ってくれたのは、中学、高校と一緒に戦ってきた2つ上の先輩の存在だったそうです。当時、最上町には柔道のスポーツ少年団がありませんでしたが、2人で立ち上げました。今でも仕事の合間を見て週3回、小中学生とスポーツで柔道を指導しています。



現在も全国レベルの選手を育成しています。今年、指導者として16年目のキャリアを迎えますが、「勝ち負けではなく、柔道を楽しみ、大人になっても好きでいてほしい。」と指導を始めたばかりの当時の思いと一貫して変わりありません。高橋さんは、「大きな怪我無く、選手たちが引退して、最上町に帰ってきて欲しい。そして、指導者として柔道に関わってくれたら嬉しい。」と笑顔で語ってくれました。大好きな柔道をこれからも長く続けられるよう、今後のご活躍を期待しております。

このコーナーに出てみませんか？

【取材について】

※対象は小学校2年生以上でインタビューできる方

※取材後、掲載までは少々時間がかかりますのでご了承ください。

※掲載には必ず写真を撮影させていただきます。



16年間の指導の中では、全国大会へ出場した生徒もいます。

定期的に「最上町のレッツチャレンジ」で町民を紹介していきます。出演いただける方を募集しています。近所の紹介したい方、夢に向かって頑張る子供、大人、スポーツ少年団など、どなたでも構いません。詳細は最上町役場総務企画課まちづくり推進室広報担当までご連絡ください。
☎43-2261